

令和6年度 地域生活支援部会から提案する議題について

協議会で協議が必要な議題	強度行動障がい者支援のプロジェクトチームの設置について
協議内容	強度行動障がい者支援に向けて、人材育成のニーズ把握に焦点をあてて検討していくプロジェクトチームを設置する。設置にあたり「静岡県障害者自立支援協議会部会等設置要領」の第8条に基づき、障害者自立支援協議会で進め方等についてご意見、ご助言をいただき、承認を得たい。
現状と課題	<p>(現状)</p> <p>静岡県の中で、強度行動障害のある方等への取組の必要性の声は上がっていたが、強度行動障害のある方についての支援の検討はなされていない。その中で、R4年度の国の検討会では以下のような課題が示される。</p> <p>(課題)</p> <p>国の調査報告より次の課題があげられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 支援人材の更なる専門性の向上 ② 支援ニーズの把握と相談支援やサービス等に係る調整機能のあり方 ③ 日常的な支援体制の整備と支援や受入の拡充対策 ④ 状態が悪化した者に対する集中的支援の実施体制整備 ⑤ こども期からの予防的支援・教育との連携 ⑥ 医療との連携体制の構築 <p>また、地域支援体制の取組の中で政令市・市町村の役割は次のものが示された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成 ・広域的人材の配置 ・協議会等を活用しながら広域での支援体制整備 ・強度行動障がい有する者の支援ニーズの把握 ・関係機関の連携した支援体制の構築 など <p>(目的)</p> <p>上記の現状や課題から強度行動障がい者支援に向けて人材育成と支援ニーズの把握に焦点をあてて、支援体制の整備を目的にプロジェクトチームを設置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の整理（研修の整理、障害者手帳データの確認） ・支援ニーズの調査、課題の整理 など

<p>これまでの取組み</p>	<p>R6年度以前の取組</p> <p>地域生活支援部会にて、「地域移行の促進に向けた緊急時及び強度行動障がいのある方等の受け入れ体制について」を継続的に検討をしていた。また、R5年度の「共生のまちづくり計画」の策定の中でも、国からの指示で「強度行動障がいを有する者に関し、各市町村又は圏域において支援ニーズを把握し、支援体制の整備」との記載をすることとなった。そのような経過の中で、部会員の中で再度取り組みについて検討する中で、現場の声を活かせるようなメンバー構成でのプロジェクトチームを設置し、強度行動障がい者への支援ニーズの把握と人材育成についての検討を行うこととした。</p> <p>R6年度取組</p> <p>当プロジェクトチームが協議会で承認された場合の参加について、下記メンバーに意向を確認、内諾済み。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・望月 晃次 氏 (まあぶる) 座長 ・川口 花恵 氏 (まあぶる) ・牧田 孝行 氏 (宍原荘) ・深澤 しづか 氏 (そら) ・東 美都希 氏 (はれのひ) ・稲葉 俊彦 氏 (きらり) ・福田 善通 氏 (きらり) <p>※メンバーについては、必要に応じてプロジェクトチームへの参加を適宜依頼する予定</p> <p>6月10日(月) 地域生活支援部会で議題提案をすることについて承認</p> <p>6月27日(木) 準備会(顔合せ、方針やスケジュールの確認等)を開催</p>
<p>今後の取組み方針</p>	<p>スケジュール</p> <p>プロジェクトチームにて、強度行動障がい者支援に向けて人材育成と支援ニーズの把握と検討を行う。2年間の活動を想定。</p> <p><予定></p> <p>R6年度：現状の把握、調査内容や方法の検討(12月頃までに4回程度の検討会)</p> <p>R7年度：静岡市の強度行動障がいに関する研修情報の整理、強度行動障がいサポート事業の整理、静岡市の強度行動障がいに関する人材育成の取組案 など</p>